

江工会会報

発行所
江 工 会
島根県江津市江津町147
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

開校七十周年を終えて

会長室 安 延 博
(建築科昭和31年卒業)



会員の皆様、
あけましておめで
とうございます。
お插いで新春をお
迎えることと、お
慶び申し上げます。

昨年の日本列島は、度重なる大
型台風の上陸や新潟県中越地方の
大震災と列島の大異変に終始して
世相を象徴する漢字は「災」となり
ました。被災者の皆様方には、衷
心よりお見舞い申し上げる次第で
す。本年は「災い転じて福となる」
年を期待したいものです。

他方、アテネオリンピックは、
メダルラッシュに沸き、暑い夏の
一服の清涼剤となりました。
同時に島根県を中心とした全国
高等学校総合体育大会(中国04総
体)が開催され江津市は、水球競
技が行われました。県内の高校生
は「二人一役活動」を展開され母校
の生徒も会場の清掃美化、大会運
営の補助員としてその役割を成し
遂げ、全国の参加者から大変なお
褒めをいただきました。

高校生の就職内定率は67・7%
と文部科学省が発表しましたが、
昨年同期と比較し6・3%改善さ
れたとは言え景気の低迷する昨今、

厳しい実態があります。しかしな
がら、母校にあつては、先輩会員
の皆様方や諸先生方のご努力によ
り一月末において、一〇〇%内定
しましたことは喜ばしい限りです。

表題の通り開校七十周年記念事
業が学校長以下先生方、工友会等
多数の関係者のご支援により成功
をおさめました。特に会員の皆様
には、記念事業募金・会員名簿作
成及び購入とご協力をいただきました。
式典にはご多忙にもかかわらず
早速関東・関西・山口県支部長を
始め多数の参加をいただきました
こと重ねてお礼申し上げます。記
念講演は、藤井浩史氏(建築科二
十九年卒業)に「夢・心」と題し
て、ご自身の体験をまじえてお話
いただきました。

築二十年を迎えた江工会館も老
朽化が進み、運営委員会の議決を
得て、空調設備(会議室)と浴室
用ボイラーの更新整備を行いまし
た。ご利用下さい。

去る十一月二十日には江工会「益
田支部」が発足し、田渕直徳支部
長以下役員も決定がなされ、江工
会も更なる強固な組織となりまし
た。今後の益田支部のご発展を祈
念致します。

地域に於いては、江津市も市制
五十周年を迎えました。同時に十
月一日に邑智郡桜江町との合併が
成立三元気・勇氣・感動をキャッ
チフレーズに新生江津市が誕生し
ました。母校南側一帯は、シビッ
クゾーンとしての開発計画が進み
医療福祉を中心として大きく様変
りして行きます。本校の発展と共
に期待したく思います。

他方、訃報の中では九月二十五
日江工会第五代会長牛尾一弘様が
ご逝去なさいました。今日の江工
会の発展に貢献なさったご功績に
感謝いたします。皆様と共に哀悼
の誠を捧げたいと思います。
終わりに、長期化する景気低迷
の幕開けですが不撓不屈魂で共に
頑張らしましょう。

皆様の益々のご健勝をお祈り申
上げご挨拶いたします。

新春のご挨拶



江工会員の皆様
には新春をお元氣
でお迎えになられ
たこととお慶び申
上げます。母校
の教育活動に格別のご理解と温か
いご支援を賜り誠にありがとうございます。

平成十六年度は開校七十周年に
あたり、半世紀の大きな節目とし
ての五十周年を、そして還暦の六
十周年を成功裡に行つて以来十年
経過したこの年に悠々として続け
た伝統の継承と新しい気風の確立
に向かつて『回顧、さらなる飛躍
を目指して』のメインテーマの下



江工会館(左手前)と本館校舎

校長 金山幸三

に記念式典、記念事業等を計画し
ました。記念事業はすでに完了し
たものもありますが、中校舎と建
築科実習棟の間に作庭計画をして
おります『夢の庭園』は、先頭着
工の運びとなりました。

十月八日開校七十周年記念式典
を江工会員、工友会(本校退職教
職員)保護者、県教育委員会、本
校ゆかりの教職員等々、百名以上
の参加をいただき、厳粛の内に行
うことが出来ました。引き続き行
いました記念講演は、藤井浩史氏
(建築科二十九年卒業)を講師に
招き「夢・心」という演題でお話
をしていただきました。この講演

は「心を豊かに持って、強い信念
で描いている夢は、為せば成る。
努力すればそれが実現できる。」
と、ご自身の人生経験をもとに分
かりやすく、生徒諸君に語りかけ
ていただきました。

本年、卒業する生徒の進路です
が進学につきましては、少子化の
影響か広き門となり大学、短大、
専門学校に三十五名の進学先が決
定しております。

就職に関しましては「全国の高
校生は七十パーセントの就職内定」
という就職難の中、本校は諸先輩
方が各地で頑張っておられるおかげ
で、本校指定の求人も多く、全
員の内定をいただいております。
内定先は県内三十三名、関東二名、
中京四名、関西八名、広島二十名、
計三十四名が県外です。
現在、教育界も改革の波が押し

寄せ、この十年間に「生きる力」「新しい学力感」「学校週五日制」：「学力低下論」「学びのすすめ」等々のキーワードで色々な改革が行われています。この改革の方向は、様々ではありませんが、今、学校で教育に携わる者が考えなければならぬのは「ゆとり路線」から「学力（学習力）向上路線」へと変わった教育の方向を見定めて、今からの生徒を教育していく事である

七十周年記念事業を終えて

記念事業実行委員会 金 田 健 男

江工会員の皆様にはますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。さて母校江津工業高校は昭和九年の島根県立江津工業学校開校以来、平成十六年をもって七十の齢を数えました。（蚕業講習所開設より数えて一〇二年です。）

この記念すべき七十周年を祝うべく、江工会および学校で、どのような形でお祝いの事業を行うか、協議し、実行に移して参りました。ここにその概要を述べ物心両面でご協力いただきました江工会員の皆様へのご報告とさせていただきます。

七十周年記念事業概要

○テーマ「回顧、さらなる飛躍をめぐって」

○事業内容等

一、記念事業関係

・記念式典、記念講演会

講師 建築科「十九年三月卒 藤井浩史氏

演題 「夢・心」
若者よ、「心豊かに」「大きな夢を」と熱く

と考えます。島根県立江津工業高等学校が八十周年、九十周年、百周年を迎えられますよう、生徒、教職員が一丸となり、諸先輩が築かれた伝統を継承してさらに大きく飛躍する為の努力をする覚悟しております。諸先輩方の更なる温かいご支援をお願い致しますと共に、皆様方のご活躍とご健康をお祈りして挨拶とさせていただきます。



記念講演・藤井浩史氏

・記念PTA総会（講演会）
講師 小説家 村尾靖子氏
演題 「出会い、ふれ合い、巡り合い」
語られる。

二、記念刊行物等

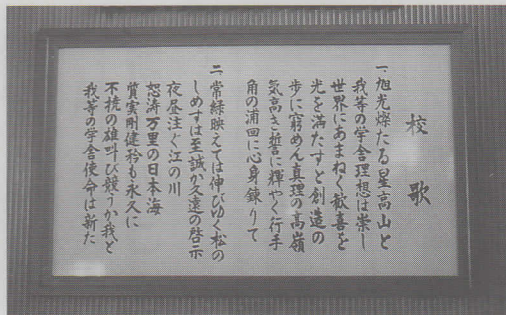
・記念誌刊行

平成七年以降の十年史。補遺として戦前戦中戦後の江工資料を掲載。

開校記念記念品
懐かしい校歌と援歌のC

Dを作製しました。歌手は江工会員の方々です。
・記念図書購入
・百科事典他

・環境整備（詳細は後述）
中庭と「心の石」周辺の整備、体育館に校歌額、西校庭にフエンスの設置。



校歌額（体育館正面に設置）

三、江工会

・卒業生名簿発行

○環境整備について
ゆとりとうるおいを醸成する場としての庭園を、生徒から計画案を募集しました。星高山、江川等をイメージした広場になる予定です。（現在、工事中です。）
なお終わりになりましたが、二つだけ書き加えておきます。室安会長発案の「会館に宿泊してもらって」は七名の宿泊。記念式典の後、祝賀会を開催いたしましたら江工会員の方々に多くの出席をいただき、「こんな楽しい会は初めてだ。」この一言がとても印象的でした。開いた甲斐がありました。本当にありがとうございます。

江工会支部だより

支部活動に携わって

関東支部長 塚 本 清
（建築科昭和40年卒業）

母校、開校七十周年記念式典は、質素な中にも華やかさを感じる式典でした。在校生の「生徒代表のことば」には胸を打たれ、卒業生としての誇りを感じさせられる一日でした。関係者の皆様方の大変なご苦労をお察し致します。母校の益々のご繁栄を心よりお祈りいたします。

さて、江工会関東支部長をお受けして早二年になります。



平成16年度関東支部総会懇親会(2004. 2. 15)

「会員の情報交換の場と位置付け支部活動の多様化と総会の活性化を図る」を方針に活動しています。来期は、ゴルフ会・釣りに加え、ハイキングを開催して、更に身近な会となるよう活動致します。二月二十日（日）に、平成十七年度支部総会を計画しております。アトラクションとして不景気かぜ

を吹き飛ばす笑い『落語』の演出を企画し、会員相互の交流を図りたいと考えております。江工会関東支部にホームページを立ち上げましたので活動状況を是非ご覧下さい。
江工会本部を中心に各支部相互の交流が持たれて活性化することを期待いたします。

開校七十周年に想う

関西支部長 大 本 敏 朗
（機械科昭和40年卒業）

江工会会員の皆様には「ご健にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年のご案内の通り母校が開校七十周年を迎え盛大に記念式典が挙行されました。関西支部からは総勢十二名の支部会員の方に参加していただき、また記念講演には関西支部の藤井浩史先輩（昭和二十九年建築科卒業）が「夢・心」という演題でご自身の人生を重ねながら、またアテネオリンピックで大活躍した日本選手を例にされ、在校生に対し語りかけるように非常に分かりやすくお話ししていただきました。参加した十二名も講演を聴き、また当時十代の若き夢を抱いて学んだ、校舎や周辺を見学しながら、在校時代に思いを馳せ語り合っていました。
母校も生徒数の減少や学科の再編など厳しい状況下で、地域の中学校や市民の協力を得ながら奮闘されておられ、三十年前との時代背景の違いを感じた次第です。

さて、支部活動ですが昨年五月二十九日に支部総会を開催いたしました。本部より室安会長、金山校長、佐々木事務局員、また関東支部から勝田副支部長、大野役員



平成16年度関西支部総会 (2004. 5. 29)

工建築科卒業) 清水建(Bは、後輩の島田重昭支部役員(昭和四十五年建築科卒業)が参加したことに大変喜ばれていました。また今でも月三回のゴルフを欠かさずプレーされているとか、一方青木武司先輩(昭和二十一年建築科卒業)お孫さんに負けないよう尺八に挑戦されるのことで、大先輩のお二人の健在ぶりにみんなが元気づけられました。

昨年大変残念だったことは、長年関西支部の発展に多大なご尽力とご支援を賜った、中山良嗣(昭和三十年木材工業科卒業)さんが七月に永眠されました。生前事業を展開されるなかで先輩、後輩にお世話になりながらご恩返しができなかつたと、支部に多額のご寄付をいただきました。心よりご冥福をお祈りいたします。

関西支部も来年(平成十八年)は五十周年を迎えます。総会の案内者数を二〜三倍に増やし参加者の減少に歯止めをかけ、節目の総会を盛り上げたいと役員一同様々な計画を練っているところです。特に平成卒業の若い会員の多数の参加を期待しています。皆さんのご協力をお願いします。

最後に江工会会員の皆様方のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ支部便りに変えさせて戴きます。

支部活動報告



山口県支部長
上 田 博 祥
(建築科昭和33年卒業)

江工会会員の皆様には新年を健康やかに、お迎えのことと推察いたします。新しい年のスタートにあ

たり皆様の益々のご健勝をお喜び申し上げます。

江津工業高等学校開校七十周年記念おめでとうございました。関係者の皆様に敬意を表します。

昨年は、日本経済不況の中景気を下方修正し、更に税制改正大綱の決定により平成十八年、十九年には、所得税、住民税の半減により結果的には課税強化となり、増税シフトが予定されています。



第43回山口県支部総会 (2004. 2. 22)

また、例年にも増して大型台風の上陸、地震等『災』の一年でした。とりわけ建設業界は、公共事業の縮小により苦しい経営状態が続いております。このような時こそ、会員同士が連携を密にしてこの不況を乗り越えることが重要ではないでしょうか。

支部総会も交流の場として、各方面の情報を交換しながら更なる活動をしていきたいと思っております。毎年のことながら、若い人の出席

が少なく同じ顔ぶれです。是非とも、新卒の方は、一度は出席することをお願いいたします。

第四十三回江工会山口県支部総会は二月二十二日(日)本部より江工会長、校長先生、事務局長の三名をお招きして、小郡町で開催しました。支部の活動報告、決算、予算の審議承認を無事終了して本部より、七十周年記念事業等の現況報告がありました。

恒例の記念撮影後、懇親会に移りました。佐々木事務局長の手品、懐かしい、母校の思い出や近況を会員が先輩、後輩の関係なく語り合い、終わりに全員で校歌、応援歌を合唱。山口県支部の団結を誓い合った一日でした。

最後になりましたが、江津工業高等学校の発展を祈念致しますと共に今後とも、江工会山口県支部を宜しく願い申し上げます。

新生江津市役所支部

江津市役所支部 尾崎 克文

(建築科昭和52年卒業) 江工会員の皆様、明けましておめでとうございます。益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

江津市役所支部では、昨年三月浅野芳友収入役(昭和34年機械科卒業)が退任され、送別会を開催しました。収入役との別れを惜しみながらも、そこは江工会です。お酒が入ると、いつしか応援歌

の大合唱が始まり、最後は校歌で終わるいつものパターンです。その度に感心するのは先輩方が、江工を卒業後何十年も経つのに応援歌等をよく覚えておられる事です。(私も二十数年になります)が、その愛校心に敬服する次第です。

江津市は、昨年十月に桜江町と合併し、新生江津市として「元氣・勇氣・感動の江津」をキャッチフレーズとしてスタートしました。



江津市役所支部

それに伴ない、江津市役所支部は桜江町の会員六名をお迎えして四十八名となりました。

さて、新生江津市の紹介します。人口(二万九千三百七十七人)面積(二六八平方キロメートル)となりました。しかし、少子高齢化が進み不況の波も容赦なく押し寄せ、地場産業も大変な打撃を受けております。このような社会情勢の中で市民の皆さんが情熱をもって安心して生活できるような施策を掲げ、シビックゾーンの開発に取り組み現在、済生会江津病院を移転建築中です。

本支部会員も新生江津市の更なる発展に微力ながら尽したいと思っております。終わりに、江工会員皆様方の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

益田支部設立総会を開催



益田支部長
田 渕 直 徳
(建築科昭和26年卒業)

平成十六年十一月二十日(土)の夕方、長年の懸案であった江工会益田支部の設立総会が、室安延博江工会会長、金山幸三校長、佐々木一郎事務局長のお三方をお迎えして盛大に開催された。

益田地区には江工会の支部組織が無く、今まで江工会のお世話をしておられた、梅津寅雄氏が平成十年に亡くなられてから既に六年が経過している。

丁度、母校が開校七十周年を迎えるにあたり二、三人の有志で何とかしようと言う事になり、齋藤幸広氏(昭和二十九年機卒)に早速名簿の作成に取り掛かって頂いた。当地区に卒業生が何人いるのか判らなかつたが、今般発行された会員名簿から抽出、整理してみると百六十数名いることが判明した。

全会員に總會の案内状を出してまた驚いた。物故者が二名、内一名は十五年前に鬼籍に入っておられるとご家族から連絡があった。住所不明で案内状の返却が四名、関西支部への異動が二名であった。

卒業生の存否も判らないと言う事は同窓会の活動が如何に大切であるかを痛感した。

總會は、篠原新六氏(昭和四十年建卒)の司会で、先ず発起人を代表して齋藤幸広氏が今日に到るまでの経過報告を行った。次

いで支部長挨拶、室安会長の示唆に富んだ軽妙なスピーチはなかなか圧巻であった。金山校長先生の御祝辞に続き、佐々木事務局長より江工会と学校の近況についてご報告をいただいた。会則の審議、承認、次いで役員を選出が行われたがそれぞれ満場一致で可決された。記念撮影に次いで懇親会に入



益田支部設立総会 (2004. 11. 20)

つたが、終戦後間もない頃の卒業生から、平成十年の卒業生までの年齢差は四十七歳もあり二十八名の出席者は、それぞれ

の立場で社会に貢献しておられることを知ることができた。

発起人の間では「今後二、三年に一度程度集まるるか」と話していたが意見を聴取すると「毎年集まろう」と全員の回答があり、毎年總會を開催することになった。

会場には校歌、応援歌が流れ当地始まって以来の『江工フイバー』に酔った。宴が終わってもなかなか別れ難く殆ど全員で二次会に同行した。

この会を纏めるにあたり終始活動して頂いた大石環氏(昭和三十八年建卒)が直前になって胃の摘出手術を受けられ出席できなかったことが何より残念でならなかつた。

出席者名簿と胸に付けたカードに氏名、科名と卒業年を記入したのは正解で、それが無かつたら年齢も、「何のタレ兵衛」かも、さっぱり判らず場内は白けたものになっていたかも知れない。記念写真は齋藤幸広氏が会場で直ちに引き伸ばし、プリントして全員に配布したのは見事であり、其れもこれも玄人はだしの齋藤氏ならではの労作であった。

いづれにしても開關以来の『江工会益田支部設立総会』は大成功であったと自画自賛している。

役員は以下のように決定した。

支部長	田 渕 直 徳	昭和26年建卒
副	佐々木忠之	昭和39年電卒
副	湊 正 明	昭和35年機卒
幹 事	伊 藤 延 夫	昭和40年電卒
〃	藤 原 健 三	昭和40年建卒
〃	堀 義 春	昭和40年建卒
〃	岡 崎 新 六	昭和40年建卒
〃	岡 崎 悟	昭和40年機卒
〃	大 石 環	昭和38年建卒
事務局	大 石 環	昭和38年建卒



湯町窯

陶工 福岡 琇 士

(工業化学科昭和35年卒業)

私は、昭和十六年「湯町窯」の長男として生まれ育ちました。後継者となる為の進路選択として、江工の工業化学科で「窯業」を専攻しました。生家を離れての寄宿舎生活が始まりました。

勉強はさておき、育ち盛りの私にとって、寮母さんに作ってもらう食事が楽しみで、味噌汁の旨さは格別なものでした。また、おやつを確保するために友達と近くの野山へ狩りに出かけたことは、物が溢れている現在ではとても考えられない経験で、懐かしい思い出です。

卒業後は生家に戻り、湯町窯で父の指導を受けながら、「土」を相手にする仕事を始めました。昭和四十七年に沖繩読谷村において、金城次郎氏に師事しました。その時、先生の「仕事」に対する情熱を目の当たりにして大きな感銘を受けたものです。

江工のもう一つの思い出は、担任の故山崎文雄先生がよく、私達に語りかけられた言葉です。「何をやるにも常に、どがーかな(何故かな)」という気持ちを持ってやりなさい。私はこの気持ち大切にしてきました。

私は、「旨い物を引き立てる器作り」を念頭に置き、これからも、湯町窯の伝統を踏まえて素直な気持ちで「土」と向かい合い、物作りの苦しみの中に、楽しさを見つけながら仕事を続けたいと思います。

このコーナーでは各界で活躍されている卒業生を紹介いたします。今回はあなたかも……。

【連絡先】
湯町窯 代表者 福岡琇士
開窯年 大正十一年

【主な作品】食器・花器・飾り皿・抹茶碗など。



湯町窯 作品展示場にて

〒六九九一〇二〇二
八東郡玉湯町大字湯町九六五
JR玉造温泉駅横
TEL 〇八五二(六八二)〇七二六
FAX 〇八五二(六八二)二八六三
皆様のお越しを、お待ちしております。

進路報告

進路指導部長 佐々木 文人

昨年より景気の先行きが明るい兆しが見えてきましたが、ここきて少し足踏み状態となっています。

本校においても、求人数が若干ではあるが増加しており、大手企業からの求人が回復しつつある。鉄鋼・電気機械・自動車産業の求人は着実に増加傾向にあるが、電子部品製造関連は微増、非製造業では建設業の不振が目立つ。通信工事・電気工事は横這い状態である。

最近5年間の求人状況

	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度
求人会社数	264社	232社	200社	216社	240社
求人数	345名	366名	294名	290名	335名
就職者数	95名	95名	61名	71名	67名
求人倍率	3.63	3.85	4.82	4.08	5.0

製造業の景気回復に支えられ本校生徒も一回目の就職試験で六十七名が受験し、五十六名が内定。内定率八十三%と健闘した。その後も順調に内定をいただき一月末において一〇〇%の内定となりました。なかでも九名の生徒が本校卒業生の支援で内定

進路状況 (H17.2.1現在)

	本年度	昨年度
卒業生数	102名	110名
県内就職者数	33名	31名
県外就職者数	33名	39名
公務員	1名	1名
就職先	67名	71名
4年制大学	3名	5名
短期大学	1名	2名
高専	3名	3名
各種専門学校	21名	24名
進路未定	7名	6名
進路未定	35名	39名
進路未定	0名	0名

しています。

就職内定先 (順不同)

(県内)

朝日鉄工・出雲大社・山本ダイス・オオサ電子・大田通信・協和木工・ケイエフジー・江津NPサービス・国際警備保障・島根合板浜田針葉樹・島根電工・翠苑・第一稀元素化学・中電環境テクノス・トップ金属・西日本海合板・日本ケープルシステム・日本製紙ケミカル・ハゼヤマ・浜田工業・浜田港運・浜田マルキ・双葉工業・平和金属工業・マルハマ食品・毛利組・丸新

(県外)

石田エンジニアリング・エステテイク・王将フードサービス・岡崎紙工・奥谷組・岡山県貨物・音戸工作所・キョーラク・神戸製鋼所・合同産業・左官藤原組・山陽空調工業・神鋼電機豊橋・神光鋳力印刷・スタイリスト進・住野工業・大生土木・ダイハツ工業・多田工管・中電工短大・常石造船・トヨタ自動車・福山スチールテクノロジー・広島アルミニウム・広島エルピーダメモリ・福井建設・マツダ・三菱

重工業広島・陸上自衛隊

進学先 (順不同)

(四年制大学)

岐阜経済大学・東亜大学・福山大学

(短期大学・高専)

敦賀短大・ポリテク島根・松江高専(編入)・米子高専(編入)・他専門学校

平成十六年度

部活動報告

生徒指導部

野球部

春季中国大会地区予選 一回戦 3x-2益田
春季中国大会県予選 一回戦 7-5松江北
二回戦 0-10平田
全国高校選手権島根大会 一回戦 4-5津和野
秋季中国大会一次予選 一回戦 10-2津和野
二回戦 7-8情報科学

県高校総体

バレー部

一回戦 2-0江津
二回戦 1-2横田

バスケット部

一回戦 64-51安来
二回戦 43-88出雲

ソフトテニス部

男子団体戦
二回戦 3-0大東
三回戦 2-0瀬摩

男子個人戦

3位 河田・三好組
ベスト8 酒井・三藤組

工友会総会報告

江工七十周年記念の年

昭和四十一年に初任校として赴任した懐かしい「江工」の七十周年記念式典がある年に、退職してゆとりができたこともあり、工友会(江津工業高校教職員OB会)総会に出席した。

十月八日、午前十時にはマイククロバスが江工玄関前にて、参加者を今や遅しと待っていた。盆子原会長、平田事務局長、高木幹事さんが丁寧に歓迎してくださった。私個人にとっては、実に三十数年振りにお会いする懐かしい方々がすでにバスに乗っておられた。

記念式典に参加する前に、青陵中学校の西側(江津市二宮町)に位置する「ミレ青山」を見学・研修した。最初に会議室で施設長の宮田茂樹さん(木材工業科三十二年卒)から丁寧で情熱的な説明を受けた。ミレニアムの二千年に青山に作られたので命名されたとのこと。養護老人ホーム「ミレ青山」を中心にデイサービス、ショートステイ、在宅介護支援センターなどを備えた実に立派な総合福祉施設であった。昼前には江工会館に帰り昼食を済ませた。

午後一時五十分から七十周年記念式典が行われた。厳粛な雰囲気で行なわれたが、内容は別項をご覧ください。

午後三時過ぎ、研修会・総会会場である、合併により出来たばかりの邑南町へ向けてバスは出発した。目指すは「いこいの村しまね」である。ゆったりと風呂に入り疲



第21回工友会総会 (2004. 10. 8)

れを取った後、総会が開かれ、議事内容は全て承認された。引き続き懇親会に入った。記念式典の後の祝賀会と重なり幾分参加者が少なかったが、皆さん芸達者で盆子原会長の銭太鼓、小谷・高木先生をはじめ皆さんのカラオケで大いに盛り上がった。

翌九日、目覚めると矢上の町は折からの雨で霧に包まれていた。朝食後、「ハンザケ(オオサンシヨウウオ)自然館」と「香木の森」を見学した。二日にわたる秋の自然を満喫した有意義な研修旅行を終え、午後一時過ぎ江工に到着し、来年の総会・研修旅行での再会を約束して解散した。江工及び工友会役員の皆様には大変お世話になりました。有り難うございました。

(松江市在住 舟木征一記)

卓球部

男子団体戦
一回戦 0-3 出雲農林
男子個人戦
ダブルス 初戦敗退
シングルス 三回戦進出

陸上部

男子円盤 2位 藪木
男子走り 決勝進出 水野
男子二〇〇m準決勝進出 梶原

水泳部

男子一〇〇m平泳ぎ 3位 片山
男子二〇〇m平泳ぎ 優勝 片山



祝 全国総体出場

ボート部

男子クオオドブル 優勝
森口・島田・徳田・本山・佐々木
男子ダブルスカル 優勝
張・本藤

弓道部

男子団体戦 8位(60射46中)
女子団体戦 決勝進出ならず
男子個人戦 三回戦3名進出
女子個人戦 二回戦1名進出

サッカー部

一回戦 0-5 松江工業

レスリング部

団体戦 2位
個人戦
フリースタイル
60kg級 2位 小林
66kg級 2位 平井
84kg級 優勝 嘉久志

96kg級 2位 麻原
ワンダーフォーゲル部
サポーター隊に四名参加

中国高校選手権

ソフトテニス部(尾道市)
男子個人戦
河田・三好組
一回戦 1-4 小野田
酒井・三藤組 ベスト32

一回戦 4-2 岡山理大附
二回戦 4-1 呉宮原
三回戦 1-4 山口中央

レスリング部
フリースタイル
60kg級 花田 一回戦敗退

弓道部(周南市)

男子個人戦 4位 松崎
予選 8射7中
決勝 遠近競射により4位

陸上部(出雲市)
男子円盤 21位 藪木

全国高校総体(中国04総体)

ソフトテニス部(松江市)
男子個人戦
河田・三好組
一回戦 1-4 八戸工大一
酒井・三藤組
一回戦 1-4 和歌山北



全国総体出場 ソフトテニス部

ボート部(福山市)

男子クオオドブル 準々決勝進出
森口・島田・徳田・本山・佐々木

平成15年 江工会一般会計決算書

【1】収入の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	摘 要
1. 繰越金	12,970	12,970	0	平成14年度一般会計より
2. 会費・入会金	374,400	362,700	△11,700	平成15年度は1ヶ年分
3. 寄付金	10,000	21,000	11,000	団体2件・個人2件
4. 繰入金	850,000	718,517	△131,483	積立金より繰り入れ
5. 雑収入	30	0	△30	
収入合計	1,247,400	1,115,187	△132,213	

【2】支出の部

科 目	本年度予算額	本年度決算額	差 引	摘 要
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	200,000	0	江工会会報38号 印刷費
記念品費	30,000	28,875	1,125	卒業生へ卒業証書用丸筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	
2. 管理費				
通信費	30,000	29,980	20	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	0	10,000	
消耗品費	5,000	0	5,000	
旅費	450,000	404,751	45,249	支部訪問、他
会議費	200,000	175,000	25,000	支部総会 出席
慶弔費	50,000	28,752	21,248	祝電、弔電、香典、他
雑費	100,000	32,260	67,740	広告料、謝礼、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	12,400	0	12,400	
支出合計	1,247,400	1,059,618	187,782	

収入総額 1,115,187円 - 支出額 1,059,618円 = 差引残額 55,569円

男子ダブルスカル準々決勝進出
張・本藤

レスリング部(倉敷市)

フリースタイル
84kg級 一回戦敗退 嘉久志

埼玉国体(戸田市)

男子クオオドブル 準決勝進出
森口・島田・徳田・本山・佐々木
男子ダブルスカル 敗復敗退
張・本藤

中国高校新人陸上(津山市)

男子砲丸 11位 松下
中国高校新人弓道(大田市)
男子団体戦 5位
決勝トーナメント(12射)
一回戦 6-5 広島美鈴ヶ丘

準々決勝10-11 岡山一宮
遠藤・松崎・嶋田・中本
男子個人戦 5位 遠藤

松崎 予選敗退 8射4中

遠藤 決勝進出 8射7中
遠近競射により5位

中国高校選抜

男子ダブルスカル 3位
張・本藤

ボート部(岡山市)

※全国高校選抜出場権を得る。
ソフトテニス部(周南市)
男子団体戦
一回戦 0-3 東岡山工業

レスリング部(倉敷市)

団体・個人戦に出場
第45回全国新人選手権
ボート部
男子シングルスカル 4位
島田 翔

放送部

県高校総文祭放送部門
地区大会出場
写真部
島根県高等学校写真展

入選 太田・小川

電子情報部

高校生ロボット相撲中国大会
自立型の部 三回戦進出
ラジコン型の部 三回戦進出

自動車部

ホンダエコノパワー燃費競技
全国大会(栃木県 茂木)
高校生の部
予選8位 一、〇八五km/時
決勝進出

JRC部

エコフレンドの集い 6名参加
江津保育所 訪問八回・他
新潟県中越地方大震災被災者
義援金募金活動

ボランティア委員会

清和養護学校交流会参加
江津市ボランティアバンク事業
参加

事務局だより

二〇〇四年(平成十六年)
二月一日 会報三十八号発行
各支部、地元企業、教職員、在校生等に配布。

二月十五日 関東支部総会

塚本清支部長はじめ会員六十三名の出席、来賓として関西支部から二名と山陰中央新報社東京支社の森田氏が出席。前支部長の森山征夫氏(機械37年卒)に感謝状が室安会長から渡された。懇親会では、ゲストの演歌歌手山崎ていじさん(建築51年卒)の新曲発表(鳥は故郷・せせらぎの宿)を兼ねた歌謡ショーを鑑賞した。最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。本部より室安会長・木下校長・佐々木一郎事務局長が出席。

二月二十二日 山口県支部総会

上田博祥支部長はじめ会員三十六名の出席(担当山口地区)、来賓として北九州地区から四名の出席。役員改選で全員が留任された。前支部長の山根清建氏(建築30年卒)に感謝状が室安会長から渡された。懇親会では、手品やカラオケで盛り上がり、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。本部より室安会長・木下校長・佐々木一郎事務局長が出席。

二月二十三日 弥栄支部総会

栗栖卓三支部長はじめ会員十二名の出席。前支部長の岡本均氏(建築49年卒)に感謝状が室安会長から渡された。

懇親会では、地元名物の猪鍋を囲み和やかな雰囲気、最後に全員で応援歌や校歌を斉唱し盛会でした。
本部より室安会長・木下校長・菅森事務局長が出席。



弥栄支部総会 (2004.2.23)

三月一日 新卒者入会式

江工会入会者数百十名(平成十五年卒卒業生)
白井正徳氏(機械40年卒)より「何事にもチャレンジ」の演題で、一期一会の大切さや仕事の心構え等を分かりやすく講話されました。
室安会長あいさつと講師紹介のため出席。



入会式の講話 白井正徳氏

三月三十一日 人事異動

木下英樹校長(名誉会長) 退職

四月一日 人事異動

金山幸三新校長着任
前任校 益田工業(教頭)
新々校 江津工業(教頭)

五月十六日 江工会館運営委員会

十五年度事業・決算報告・十六年度事業・予算審議。特に会議室の空調設備と浴室用ボイラーの更新が決まった。築二十年近く経過しており修繕費の増大する中、在校生徒数の減少で維持管理が厳しい状況である。

五月十六日 江工会理事会・総会

十五年度事業・決算報告、十六年度事業・予算審議。
欠員であった浜田地区からの副会長に松浦三男氏(電気40年卒)が就任、すべての議題が承認された。なお、室安会長から「七十年記念事業」の説明とご協力をお願いをされた。
総会や懇親会に邑智町・川本町・桜江町・浜田市からも出席、親交を深めることができた。



理事会 副会長就任の挨拶(松浦三男氏)

五月二十九日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員三十

平成16年度 江工会一般会計 予算書

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増△減, 摘要. It details income and expenditure for the fiscal year 2004.

余名の出席、来賓として関東支部から二名の出席。
懇親会では、歌手の山崎ていじさん(建築51年卒)の新曲披露や福引コーナーで大変な盛り上がりでした。
本部より室安会長・金山校長・佐々木敏博事務局長が出席。

五月三十日 大石氏(益田)を訪問

益田支部設立について大石環氏(建築38年卒)にご協力をお願いに事務局長が訪問。

七月三十日 校歌・応援歌録音

開校七十周年記念事業で記念品の校歌・応援歌CD作成のため、江工会館二階で室安会長他会員有志による斉唱・録音。

八月五日 名簿発行

開校七十周年記念「江工会名簿」発行と配布開始。

八月三十一日 金城町議会議員選

挙で江工会会員の当選者
横田雪生氏(機械41年卒)
永見利久氏(建築44年卒)
河西 堅氏(電気50年卒)

九月十日 江工会館の設備工事

会議室の空調設備と浴室用ボイラーの更新設備工事着工。(九月二十七日工事完了)

九月二十七日 故牛尾氏葬儀

五代江工会会長、故牛尾一弘氏(木建12年卒)の葬儀。
本部より森脇教頭・佐々木一郎

事務局長が参列。

十月八日 開校七十周年記念式典
と記念講演

開校七十周年記念式典の出席は、
来賓者百名(会員三十八名)、
在校生三百十名、教職員五十名、

【記念式典】

開式のごとば、国歌斉唱、物故
者慰霊黙祷、校長のごとば、教
育委員会挨拶、来賓祝辞(江津
市長・江工会室安会長・PTA
松岡会長)、来賓紹介、祝電・
祝詞披露・感謝状贈呈、生徒代
表のごとば、校歌斉唱、閉式の
ことば。



記念式典 室安会長の祝辞

【記念講演】
講師、藤井浩史氏(建築29年卒)
「夢・心」の演題で、正しい心、
強い心、敬いの心、感謝の心を
もち、心豊かに自分を磨き、大
きい夢もつて「為せば成る」の
気持ちで努力してほしいと、在
校生に対し豊富な経験をまじえ
熱く語られました。

十月八日 石州瓦企業と交流会

関西支部の藤井浩史氏(建築29
年卒)と関東支部の勝田友治氏
(電気38年卒)のお世話で地場

産業の石州瓦を支援するため、
会員二十二名と石州瓦工業組合
加盟企業から三十六名が参加し
て交流会が行われた。

十月八日 開校七十周年祝賀会

会員三十七名(関東支部二名・
関西支部十一名・松江支部一名・
山口県支部二名・浜田支部二名・
川本支部二名・金城支部一名・
桜江支部一名・江津支部八名・
事務局七名、来賓、旧職員、
現教職員ら総勢八十名の出席で、
祝賀会が行われ、和やかな雰囲気
の中、親交を深めることがで
き盛会でした。



開校記念祝賀会

十月八日 江工会館で宿泊

開校七十周年記念式等へ出席し
た方で、七名(関西支部三名・
山口県支部二名・事務局二名)
が宿泊利用。

十一月二十日 益田支部設立総会

会員二十七名の出席、齊藤幸広
氏(機械29年卒)の設立説明と
支部長の田淵直徳氏(建築26年
卒)の挨拶で始まり会則の承認
と役員を選出、記念写真撮影。
懇親会では、和やかな雰囲気の中、
昔話にも花が咲き親交を深

めた。記念写真とCD(校歌・
応援歌Ⅱ支部で作成)を全員に
配布された。
本部より室安会長・金山校長・
佐々木一郎事務局長が出席。

十二月十日 浜田税務署より財団

法人江工会の調査
すでに財団法人江工会は解散し
ているので解散許可文書(島根
県教育委員会より平成五年五月
十日で解散許可)指令4島教総
第425号)写しを浜田税務署
へ事務局長が持参提出をする。

ご寄附のお礼

故牛尾一弘様のご遺族様より
ご厚志を江工会に頂きました。
厚く御礼申し上げます。

同窓会

五月三日

機械科三十六年卒(IBM会)
浜田市青海荘にて十二名参加。
六月七日
機械科三十二年卒(八起会)
有馬温泉(奥の坊)にて二十三名
参加。

恩師金子原良友先生ご出席。

八月十四日

機械科四十五年卒(獅子組)
江津市(ホテル和光)にて二十四
名参加。
恩師金子原良友先生、平田義隆
先生、室谷良秋先生、石川康收
先生ご出席。

八月十五日

機械科四十三年卒(山平会)
浜田市(浜田ワシントンホテル
プラザ)にて十九名参加。
恩師平田義隆先生、山下順先生

ご出席。
九月四日

工業化学科三十五年卒(C35会)
邑智郡桜江町(風の国)にて二
十三名参加
恩師金子原利男先生、小林茂正
先生ご出席。
九月十七日

機械科三十五年卒(石松会)
玉造温泉(ホテル玉泉)にて二十
一名参加。
恩師金子原良友先生、野津治先生
ご出席。
十月二十二日

機械科二十七年卒(船出会)
浜田市千景苑にて十六名参加。
江工会館に集合。五十年振りの
再会は、昔話浦島太郎を思わせ
た。懇親会では校歌、応援歌を
合唱して当時を懐かしみ、語り
明かした。次回は平成十七年秋、
大阪付近での開催を決定。



昭和45年機械科卒(獅子組)同窓会

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます
旧職員のご逝去
坂越 道雄(事務長)

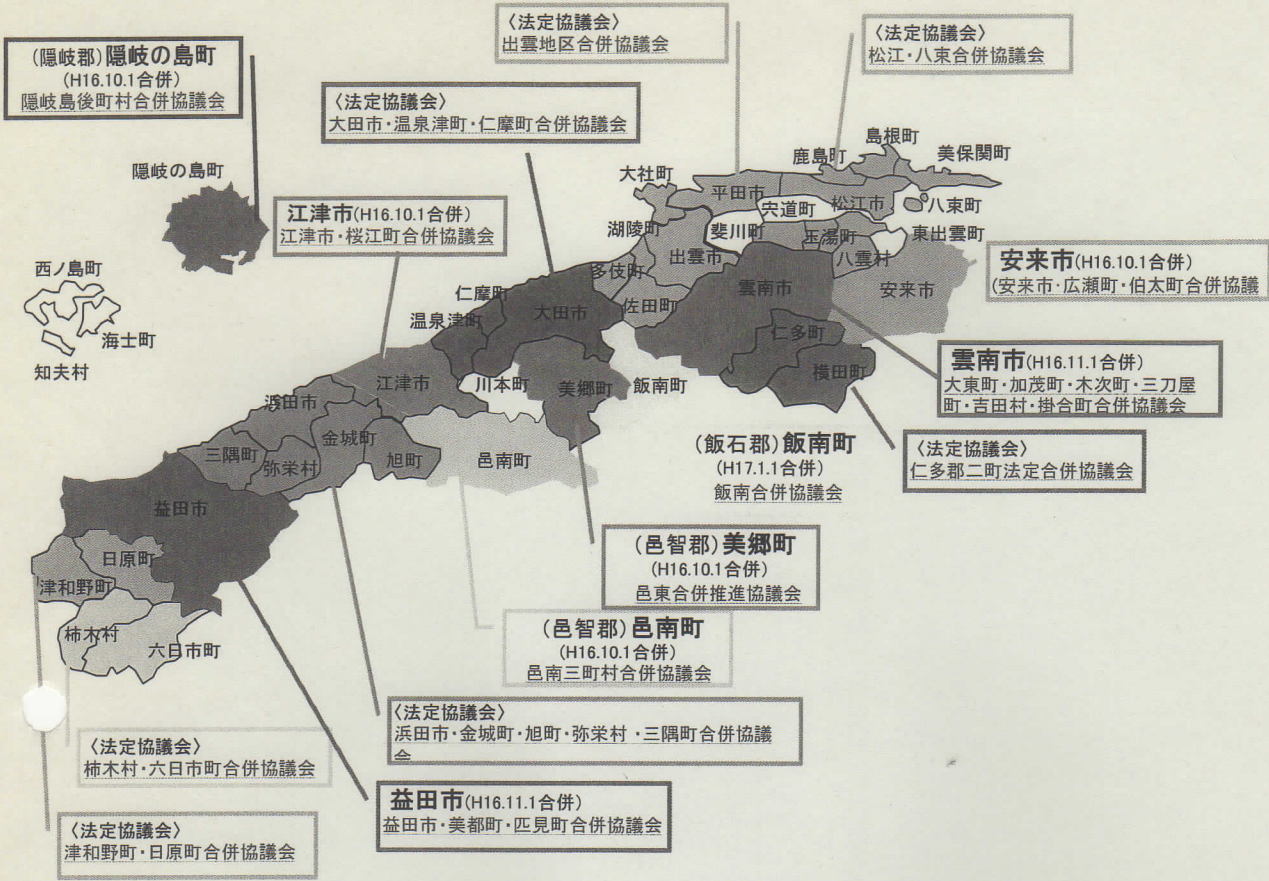
- 黒亀 慎(数学・教頭)
- 花田 俊雄(国語)
- 吉田 豊彦(工化)
- 花田 俊雄(英語)
- 大屋 晏啓(英語)
- 宮本 米(機械)
- 宗近 秀房(木工・機械)
- 会員の逝去
- 今井 満義(木芸・二十七年卒)
- 竹内 直樹(建・平成十六年卒)
- 佐々木芳治(電・四十四年卒)
- 竹下 浩(機・平成十三年卒)
- 田中 昇(2本金・二十四年卒)
- 森脇 好安(木建・十六年卒)
- 石川 重吉(木建・十六年卒)
- 永田 義治(機・三十一年卒)
- 本田 和夫(工化・三十九年卒)
- 土居 孝美(木建・十四年卒)
- 高橋 和憲(機・四十二年卒)
- 和田 正範(機・四十年卒)
- 大野 寛(機・二十六年卒)
- 佐々木 馨(機・二十六年卒)
- 牛尾 一弘(木建・十二年卒)
- 遅越 秀行(電・四十五年卒)
- 佐々木 公(木建・十七年卒)
- 中山 良嗣(木業・三十年卒)
- 三浦 三郎(機・三十一年卒)
- 岩竹 孝雄(機・三十年卒)
- 渡辺 文輝(工化・三十五年卒)

編集後記

多忙な折、快くご寄稿頂き厚
く御礼申し上げます。おかげで
第三十九号を発行することが出
来ました。

今後、「ご意見情報等」ごいま
したら事務局へご連絡をお願い
申し上げます。
TEL 〇八五五(五二) 二二二〇
FAX 〇八五五(五二) 二二六四

合併協議会の設置状況(平成17年1月1日現在)



合併市町村の状況(平成17年1月1日現在)

合併市町村名	合併関係市町村	法定協設置日	重点支援地域 指定日	合併日	合併方式	本庁(事務所)位置
安来市	安来市・広瀬町・伯太町	H14. 4. 1	H14. 2. 18	H16. 10. 1	新設	当面旧安来市役所
江津市	江津市・桜江町	H14. 7. 25	H14. 3. 6	H16. 10. 1	編入	現江津市役所
美郷町	邑智町・大和村	H14. 7. 1	H14. 5. 9	H16. 10. 1	新設	旧邑智町役場
邑南町	羽須美村・瑞穂町・石見町	H14. 7. 1	H14. 2. 18	H16. 10. 1	新設	旧石見町役場
隠岐の島町	西郷町・布施村・五箇村・都万村	H14. 10. 1	H14. 2. 18	H16. 10. 1	新設	旧西郷町役場
雲南市	大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町	H14. 10. 1	H14. 3. 5	H16. 11. 1	新設	当面旧木次町役場
益田市	益田市・美都町・匹見町	H15. 2. 28	H14. 10. 16	H16. 11. 1	編入	現益田市役所
飯南町	頼原町・赤来町	H15. 4. 1	H15. 2. 18	H17. 1. 1	新設	赤名庁舎(旧赤来町役場)
計 8 市町	25 旧市町村		8地域 25市町村			

合併協議会の状況(平成17年1月19日現在)

法定協議会の名称	構成市町村	設置年月日	重点支援地域	合併日	合併方式	名称	本庁位置
松江・八束合併協議会	松江市・鹿島町・島根町・美保関町・八雲村・玉湯町・宍道町・八束町	H14. 11. 18	H14. 3. 5	H17. 3. 31	新設	松江市	現松江市役所
大田市・温泉津町・仁摩町合併協議会	大田市・温泉津町・仁摩町	H15. 1. 6	H14. 10. 7	H17. 10. 1	新設	大田市	現大田市役所
仁多郡二町法定合併協議会	仁多町・横田町	H15. 4. 30	H15. 2. 28		新設	公募済選考中	
浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町合併協議会	浜田市・金城町・旭町・弥栄村・三隅町(三隅町はH15.10.1加入)	H15. 7. 1	H15. 7. 15	H17. 10. 1	新設	浜田市	現浜田市役所
出雲地区合併協議会	出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社町	H16. 3. 18	H14. 10. 9	H17. 3. 22	新設	出雲市	現出雲市役所
柿木村・六日市町合併協議会	柿木村・六日市町	H16. 3. 31	H15. 6. 12 (1地域での指定)(H16.5.6地域変更)	H17. 10. 1	新設	吉賀町	現六日市町役場
津和野町・日原町合併協議会	津和野町・日原町	H16. 4. 1	H15. 6. 12 (1地域での指定)(H16.5.6地域変更)	H17. 9. 25	新設	津和野町	現日原町役場
計 7 団体	28 市町村		7地域 28市町村	6	7	6	6

平成17年 1月1日現在 県内市町村数 = 42 市町村

合併協議区分別内訳: 合併市町村(8) + 法定協議会参加市町村(28) + 単独町村(6) = 42市町村

市・町・村別 内訳: 市(9) + 町(29) + 村(4) = 42市町村